

徳島の留学生交流

International student exchange in Tokushima

留学生と地域社会との交流をめざして

か  
ず  
ら  
ば  
し

2 0 1 0

徳島地域留学生交流推進協議会

International Student Exchange in Tokushima

# 目 次

○ 留学生への支援事業	-----	1
○ 留学生交流事業	-----	4
○ 徳島地域の外国人留学生受入の現状	-----	9
○ 留学生の声		
鳴門教育大学大学院学校教育研究科(修士)1年	-----	1 1
張 悦                      (中国)		
鳴門教育大学学校教育研究科教員研修留学生	-----	1 2
マルティンス・ベルジンス   (ラトビア)		
四国大学大学院人間生活科学研究科1年	-----	1 3
ホルバート・ハンガ           (ハンガリー)		
徳島文理大学薬学部2年	-----	1 4
肅 婉毓                      (台湾)		
徳島工業短期大学自動車工業科1年	-----	1 5
ミア・シュモン・エムディ   (バングラデシュ)		
阿南工業高等専門学校電気電子工学科3年	-----	1 6
バトサイハン・バトムフ   (モンゴル)		
徳島大学大学院先端技術科学教育部博士後期3年	-----	1 7
田 野                      (中国)		
徳島大学総合科学部3年	-----	1 8
ビクトリア・ブロイヤール   (アメリカ合衆国)		

## ○留学生への支援事業

### 1 留学生に対する奨励事業

徳島地域留学生交流推進協議会では、留学生の一時帰省旅費や、特に臨時の資金を必要とする場合に次の表の範囲内で貸付を行っています。貸付を希望する人は所属大学の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでいただくことにしています。

区 分	貸 付 金 額	備 考
一時帰省旅費	帰省旅費（エコノミークラス）の片道相当額	帰国後6ヶ月以内に一括又は分割返済
特別貸付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

### 2 ホストファミリープログラムの実施

徳島地域留学生交流推進協議会では、(財)徳島県国際交流協会と共催し留学生をホストファミリーの家庭へ受け入れ、家族ぐるみの交流を行うことにより互いの文化の交流を深めるとともに、留学生が疎外感を感じることなく徳島での生活をより快適に、有意義に過ごせるよう支援することを目的として実施しています。このプログラムでは、宿泊を伴うホームステイと宿泊を伴わないホームビジットがあります。

ホストファミリーの紹介を希望する人は所属大学等の留学生担当係を通じて事務局まで申し込んでください。

また、ホストファミリーとなっていたただける方を広く募集しています。申し込み方法等の詳細は(財)徳島県国際交流協会又は事務局までご連絡ください。

### 3 生活用品の無償提供

徳島地域留学生交流推進協議会では、各国際交流団体の協力を得て、交流団体の会員等から生活用品を無償提供していただき、各大学等の留学生を対象とし配布することとしています。

#### 4 留学生のための奨学金等

名称	給付額	人数(平成21年度)	備考
徳島大学国際教育研究交流資金	月額 30,000円又は 50,000円	徳島大学 16名	
藤井・大塚国際教育研究交流資金	月額 30,000円又は 50,000円	〃 18名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	〃 2名	
ロータリー米山記念奨学会奨学金	月額140,000円または 100,000円	〃 3名	
ドコモ留学生奨学金	月額120,000円	〃 1名	
(財)船井情報科学振興財団	月額10,000円	〃 1名	
佐川留学生奨学会奨学金	月額10,000円	〃 1名	
NEC C&C財団 奨学金	月額12,500円	〃 2名	
国際交流協会奨学金	月額160,000円	〃 1名	
国際コミュニケーション基金(現在、KDDI財団 外国人留学生助成)	月額150,000円	〃 1名	
財団法人 朝鮮奨学会	月額40,000円	〃 1名	
大塚敏美育英奨学財団	年額500,000円	〃 1名	
岩垂育英奨学金	年額600,000円	〃 1名	
日本国際教育支援協会一般奨学金	月額30,000円	〃 2名	
財団法人日揮・実吉奨学会第2種給与奨学金	年額250,000円	〃 2名	
レオパレス21留学生奨学金	月額10,000円	〃 1名	
徳島ゾンタクラブ	年額100,000円	〃 1名	
外国人留学生奨学金(国民健康保険補助)	年額 15,000円	四国大学 1名	
公益信託三木武夫国際育英基金	月額25,000円	徳島文理大学 1名	
鳴門教育大学私費外国人留学生奨学金	年額 60,000円	鳴門教育大学 8名	
大学間交流協定に基づく交流学生奨学金	月額 5,000円	〃 2名	
鳴門ゾンタクラブ女子奨学金	年額300,000円	〃 1名	
授業料免除	年額 672,000円(1年)	徳島工業短期大学 5名	80%免除
	年額 792,000円(2年)	〃 5名	90%免除
外国人留学生奨学金	1回 172,000円	〃 1名	国家試験合格者

## 5 その他の支援事業

団体名	事業内容
徳島大学	日本語補講 実地見学旅行 新入学留学生ガイダンス 生活支援(留学生住宅総合保障の加入金補助、渡日一時金の支給)
鳴門教育大学	外国人留学生を支援する基金－火災・風水害の被害, 病気・事故による入院への支援 日本語補講(入門クラス, 初中級クラス, 中級クラス, 上級クラス), 日本語能力試験対策講座 外国人留学生見学旅行(日帰り)－会社訪問, 文化施設訪問, 体験学習等 外国人留学生見学旅行(1泊2日)－県外での日本文化体験, 工場見学等 日本文化体験－書道, 着付, 生け花, 三味線等 外国人留学生新入生オリエンテーション 緊急対応, 交通安全オリエンテーション 教員研修留学生研究発表会・修了式(本学での1年間の研究成果の発表)
四国大学 四国大学短期大学部	留学生オリエンテーション(資格外活動, 各奨学金等に係る手続きの説明) 生活及び進路相談
徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部	生活相談:チューターの教員と協力し, 各種相談にのっている。 情報提供:JASSO, JSPS等の各種団体からの情報をメールを利用し提供している。
徳島工業短期大学	生活用品(TV, 冷蔵庫, 洗濯機, 自転車等)の貸与 入学祝金の支給 留学生後援会からの誕生祝金の支給
阿南工業高等専門学校	留学生に対する日本語補講 留学生に対する日本事情補講 留学生に対する数学・専門科目補講
(財)徳島県国際交流協会	日本語教室 外国人生活相談 外国人子育てサロン(託児つき日本語教室) 防災スタディーツアー 多言語情報提供
徳島市国際交流協会	生活用品の貸出 相談窓口の開設 日本語教室の運営 談話室運営 情報提供(ニューズレター, 図書, 新聞, BS放送)
鳴門国際交流協会	中国語教師アルバイトの紹介
小松島市国際交流協会	日本語教室の運営(夜間開催) 生活物資支援
阿南市国際交流協会	阿南高専卒業留学生の表彰 自転車貸与
徳島ゾンタクラブ	留学生への生活用品の提供
徳島ユネスコ協会	生活用品の給付

## ○留学生交流事業

### 平成22年度交流事業

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
(財)徳島県国際交流協会	平成22年7月	外国人による日本語弁論大会	在県外国人の率直な意見を聞くとともに、質疑応答などを交えて県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	平成22年8月	阿波おどり交流事業(国際交流連・あらしわ連)	阿波おどりを外国人に紹介するとともに県民との交流を図る。(徳島地域留学生交流推進協議会共催)
	平成22年11月	ホームステイ・ホームビジットプログラム	日本の家庭生活を味わってもらうことにより、日本の文化に触れ、異文化理解や相互理解を図る。
	通年	TOPIAネットワーク会員講師派遣事業	在県外国人を講師として小・中・高等学校等に派遣し、青少年への国際理解を深める。
徳島市国際交流協会	平成22年4月	国際交流の集い	弁天山 桜まつり
	平成22年8月	〃	阿波おどり
	平成22年10月	〃	剣山登山
	平成22年11月	〃	宮島、広島を訪ねる日帰り旅行
	平成22年12月	〃	年忘れボーリング大会
	平成23年2月	〃	新春、国際交流パーティー
	不定期	スポーツ交流	T. I. Aサッカーチーム
	不定期	外国文化に親しむ会	
鳴門国際交流協会	平成22年6月	多文化交流会	留学生による自国文化等の紹介(市民参加型)
	平成22年11月～12月	ホームステイ	鳴門教育大学留学生をホームステイに招待
	平成23年1月	年末年始ホームステイ	鳴門教育大学留学生をホームステイに招待
	平成23年1月	どんと焼き	伝統行事の体験
小松島市国際交流協会	平成22年7月	外国人阿波踊りコンテスト	阿波踊りを通じての交流
	平成22年11月	外国人留学生らをみかん狩りに招待	留学生と市民との交流
	平成22年6月～12月	文化庁委託事業「わかる、できる日本語教室2010」	生活に即した日本語を学ぶ
	平成22年6月、9月、12月	日本料理・各国料理教室	日本料理、各国料理を学びながら交流
阿南市国際交流協会	平成22年4月	お花見	留学生及び在住外国人と市民の交流
	平成22年6月	モンゴル料理教室	阿南高専留学生による料理教室
	平成22年9月	祖谷方面研修バス旅行	留学生及び在住外国人と市民の交流
	平成22年11月	ホームステイ受け入れ	阿南高専留学生のホームステイ
	平成22年12月	みかん狩り	留学生及び在住外国人と市民の交流
	平成23年1月	新年会	留学生及び在住外国人と市民の交流
北島町国際交流協会	平成22年5月	留学生歓迎パーティー	留学生と住民との交流
	平成22年11月	日本料理講習会	料理を通じての国際交流
徳島YMCA	平成22年8月	インターナショナルキャンプカウンセラー	東アジア地域の学生を招いてキャンプカウンセラーとして活動し、日本人学生やキャンパーと交流
徳島ゾンタクラブ	平成22年12月	インターナショナルナイト	留学生を招待して交流

主催団体等名	実施時期	事業名	事業の概要
徳島大学	不定期	日本文化体験	伊方原発見学(8月), 留学生実地見学旅行(12月), 留学生スキーツアー(1月)
	平成22年7~8月, 12月	ホームステイ	留学生が日本の家庭を訪問し, 日本語による会話を通して日本の文化や慣習を体験する
	平成22年10月	他文化体験交流会	徳島大学大学祭において留学生, 日本人学生及び地域住民との交流会
	平成23年3月	外国人留学生交流懇談会	留学生と教職員との交流懇談会
	不定期(月1回)	国際交流サロン	地域住民と留学生が日本語による交流 餅つき(5月), 折り紙(6月), 浴衣を着て阿波踊り(8月), 日本人と友達になろう(9月), 書を楽しむ(10月), 日本語による留学生のお国紹介(11月), 茶道(12月), 世界の料理(1月), 着物を着る(2月), ひな壇飾り(3月)
鳴門教育大学	平成22年6月	国際交流親睦パーティー	留学生と大学院生, 学部生, 教職員との交流会
	平成22年9月	高島地区住民との料理交流会	地域住民との国際交流
	平成22年10月~平成23年1月	外国青年と小学生の国際交流活動	鳴門市小学生と本学留学生の国際交流学習会
四国大学 四国大学短期大学部	随時	留学生面談会	生活及び進路相談, 近況報告
	平成22年12月	留学生進路相談会	進路相談
徳島工業短期大学	平成22年4月	留学生歓迎昼食会	留学生の近況報告会来日を歓迎する会
	平成22年4月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(勝浦)
	平成22年6月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	平成22年9月	研修旅行	留学生と邦人学生相互の交流(大阪)
	平成22年11月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
	平成23年1月	留学生誕生会	留学生の誕生日を祝う集い
阿南工業高等専門学校	平成22年4月	学生国際学術交流フォーラム	学術協定校留学生の研究発表をとおして高専の学生との交流
	平成22年5月	外国人留学生実地見学	日本事情の実地見学
	平成22年6月	学生国際学術交流フォーラム	学術協定校留学生の研究発表をとおして高専の学生との交流
	平成22年6月	国際交流懇談会	阿南市職員, 阿南市国際交流協会役員との懇談会
	平成22年10月	外国人留学生・日本人学生交流会	高専の学生との交流
	平成22年10月	蒼阿祭	高専の学生, 市民との交流
	平成22年11月	ホームステイ	ホストファミリーとの交流
	平成22年11月	四国地区高専総合文化祭	他高専の学生, 留学生, 市民との交流
	平成22年11月	イングリッシュ・パーティ	高専学生と英会話のみによる交流
	平成22年12月	クリスマス・パーティ	阿南ロータリークラブで交流会
	平成23年1月	新年会	阿南市国際交流協会との新年会

## 各国際交流団体の事務局所在地

団体名	事務局所在地	連絡先電話
(財)徳島県国際交流協会	徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階	088(656)3303
徳島市国際交流協会	徳島市新蔵町1-88	088(622)6066
鳴門国際交流協会	鳴門市撫養町南浜31-45 シティハイムpart1 205号室	088(683)0270
小松島市国際交流協会	小松島市横須町1-1 小松島市役所内	0885(32)2191
阿南市国際交流協会	阿南市向原町天羽畷103-1 西野建設(株)内	0884(23)5599 (夢ホール市民協議会内)
北島町国際交流協会	板野郡北島町中村字上地23-1 北島町役場内	088(698)9801
徳島ユネスコ協会	徳島市渋野町舟越27-2 岩見美智子様方	088(669)1861
国際ソロプチミスト徳島	徳島市佐古3番町7-3 吉成倭子様方	088-622-1212
徳島中央ロータリークラブ	徳島市仲之町3丁目27番地6号 エムエフビル1F	088(626)1700
徳島YMCA	徳島市新町橋2丁目29-1 蔵本ビル1階	088(626)0035
徳島ゾンタクラブ	徳島市一番町3-16-3 阿波観光ホテル内	088(622)5161



## 交流風景

### 徳島県国際交流協会



日本語弁論大会



阿波おどり

### 阿南市国際交流協会



バス旅行



料理教室

### 徳島工業短期大学



留学生歓迎昼食会

徳島大学



国際交流サロン: おりがみ



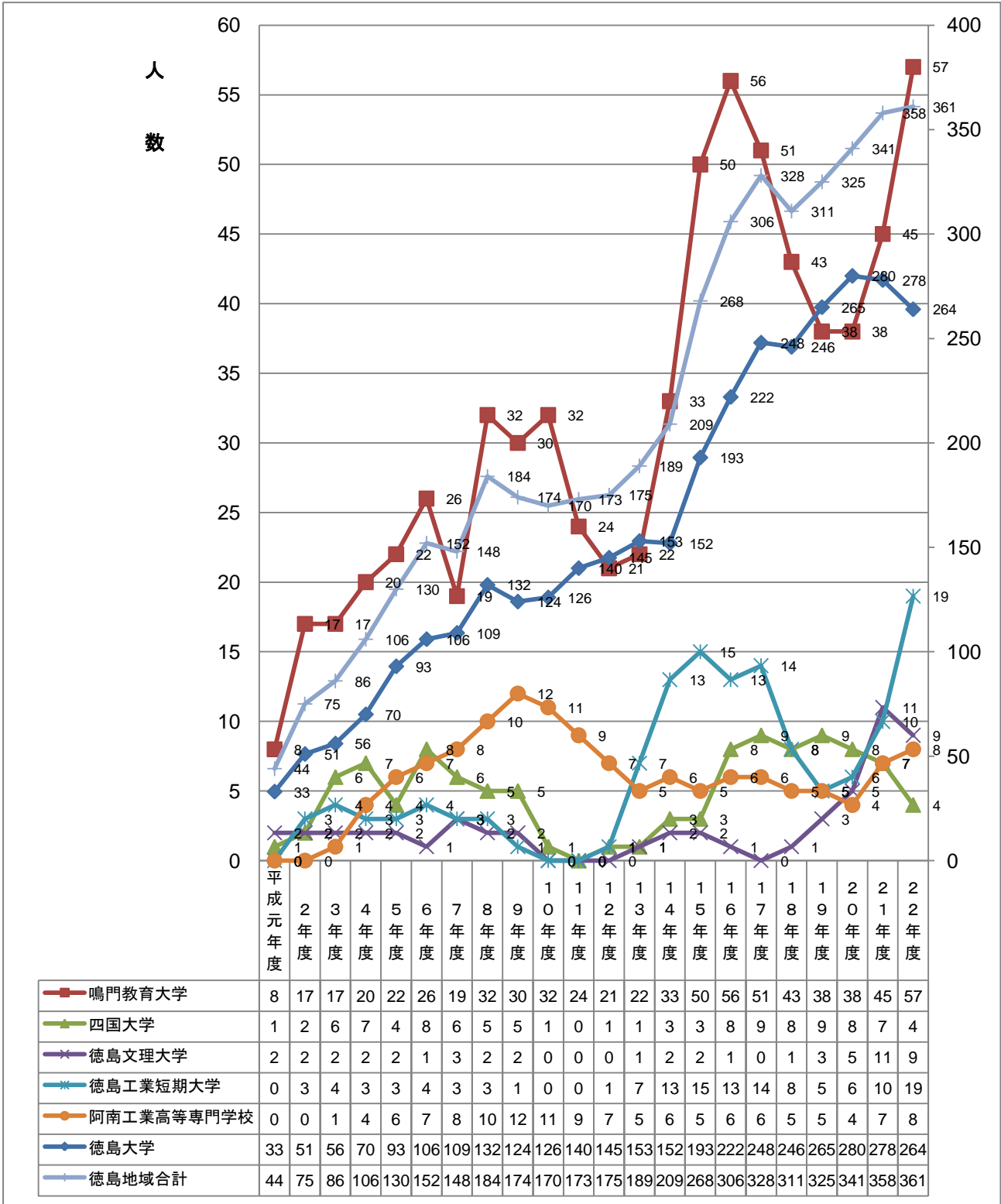
国際交流サロン: 阿波踊り



多文化交流会

# ○徳島地域の外国人留学生受入れの現状

## 1 留学生受入れ数の推移



## 2 出身国・大学等別の留学生数

(平成22年10月1日現在)

国・地域		国立大学		私立大学		私立短期大学			高専	合計
		徳島大学	鳴門教育大学	四国大学	徳島文理大学	四国大学短期大学部	徳島文理大学短期大学部	徳島工業短期大学	阿南工業高等専門学校	
アジア	中国	137	32	3	1		1	16		190
	韓国	17	3		5					25
	台湾	2	2		1					5
	マレーシア	22							4	26
	インドネシア	10	1		1					12
	バングラデシュ	14						1		15
	ベトナム	12						2	3	17
	フィリピン	2								2
	タイ		4							4
	モンゴル	17							1	18
ラオス	1	3							4	
中近東	アフガニスタン		1							1
	クウェート	1								1
ヨーロッパ	ドイツ	3								3
	セルビア		1							1
	スウェーデン		1							1
	ハンガリー			1						1
	ラトビア		1							1
アフリカ	エジプト	19								19
	ウガンダ	1	1							2
	ガーナ		1							1
	ケニア	1								1
	マラウイ		1							1
	ギニア	1								1
北米	アメリカ合衆国	1								1
中南米	ブラジル		1							1
	パラグアイ		1							1
	ドミニカ共和国	1								1
	ペルー	1								1
大洋州	パラオ		1							1
	フィジー		2							2
	ソロモン諸島	1								1
合計		264	57	4	8	0	1	19	8	361



## 徳島のイメージ

鳴門教育大学  
大学院学校教育研究科（修士）1年

チョウ エツ  
張 悦 中国

初めて徳島に来たのは、去年の10月でした。

鳴門教育大学の大学院説明会に参加するために、松山から高速バスで来たときの気持ちは今でもよく覚えています。松山に留学していた二年間の間に、日本の町をたくさん旅行しましたが、徳島の第一印象は特別でした。初めての町なのに、異郷の感じがせず、町を歩くと、気持ちが自然に落ち着きました。

鳴門教育大学は徳島市から離れていて、高島という小さい島にあります。市内バスで橋を渡った時、中国の「世外桃源」という熟語がすぐ浮かびました。これは「俗世間を離れた別天地」という意味です。大学は海と山に囲まれていて、まるで鳥がさえずり花が香る別天地のようでした。このような環境で研究に専念できれば、どれほど心地よいだろうと思いました。

その後今年の4月に、鳴門教育大学大学院に入学しました。これまでの半年間、風景画のような環境で暮らし、海岸でのバーベキュー、夏の阿波踊り、魚釣り、藍染などたくさん体験しました。これらの体験から、穏やかな徳島、沸き立った徳島、伝統的な徳島など、いろいろな面で徳島を味わうことができ、徳島の自然と文化、そしてなにより、徳島の人々の心に感動しました。

高島は二つの橋で市内とつながっていますが、橋以外に、無料の渡し船も利用できます。ある日、渡し船に乗った時に、風で誰かのぼうしが海に落ちてしまいました。それを見た船の操縦者の方は、すぐ船の方向を変えて遠くまで追いかけてぼうしを拾い上げました。小さいことでしたが、その一瞬、私は温かい人情味を感じました。慌しく時間が過ぎる大都市では、このようなことはたぶんないでしょう。このほかにも、初めて魚釣りをした時に、2時間経っても小さい魚1匹しか釣れなかった私を見て、となりのおばさんが「もう魚が食べ飽きた」とわざと言い、釣った魚をたくさんもらったこともあります。

このように徳島の人々の心に感動した経験はいくらでも思い出せるほどたくさんあります。周りの先生方や友達にも、いつも温かく見守られ、留学生活の不安もありません。徳島に来て本当によかったと思います。



## 四国、きれいな所です。

鳴門教育大学  
学校教育研究科 教員研修留学生

マルティンス ベルジンス

Martins Berzins

ラトビア

去年の十月に日本に来ました。初めてアジアの国に来ました。ラトビアには大きな山がないので、日本に来た時、たくさん山を見て驚きました。日本に来る前に日本の料理が好きですから、よく日本の料理のレストランに行ったので、はしで食べるのは問題じゃありませんでした。

今年の三月まで徳島大学で日本語の勉強をしており、北島に住んでいました。北島から自転車ですべて毎日徳島大学に通いました。自転車に乗るのは好きなので、よかったです。

一番好きな趣味はスノーボードなので、今年の冬に日本人の友達と一緒にほとんど毎週スノーボードをしに行きました。四国で一番いいスキー場は石鎚山のスキー場だと思います。

四月から鳴門に引越しました。鳴門は北島より静かな所ですが、いろいろな見物することができるし、大学の寮の近くに公園もあるので、鳴門の生活が好きです。日本の文化が好きなので、鳴門教育大学で日本の文化について様々なことをするのはよかったですと思います。たとえば剣道とか凧とか日本のゲームをすることができました。

鳴門に住んでいる人は釣りが好きだと思います。私は時々大学の寮の近くに住んでいる日本人の友達と一緒にボートで釣りに行きます。いつもたくさん魚を釣っているので、うれしいです。

四国はとてもおもしろくて、きれいな所だと思います。たとえば四国遍路は世界で有名です。私も今年の一月に四国遍路を始めました。毎週自転車か車か電車でお寺を見に行きました。七月に四国を自転車で一周しました。四国遍路も回ってしまいました。日本でたくさん場所へ行ったことがありますが、四国はとてもきれいな所だと思います。



## 藍との出会い

四国大学

人間生活科学研究科 1年

ホルバート ハンガ

Horvath Hanga

ハンガリー

ハンガリーから来たホルバート・ハンガです。

ハンガリーのデザイン大学の出身です。十数年前初めて「刺し子」を本で見ながら、日本に興味を持ちました。ヨーロッパでは日本のデザインや染織技法は高く評価されていますし、伝統の継承方法についても優れていると聞きました。そのような技法や伝統に対する態度は、本からは十分習得できないと思い、日本の文部科学省の奨学金を受けて、2008年10月から一年半の予定で、徳島の四国大学「藍の家」で、天然灰汁発酵建ての藍染めや絞り染めの勉強を始めました。しかし一年半という短い期間ではこのような奥深いテーマを身につけるには足りないと感じ、大学院に進学して勉強を続けています。

ハンガリーではかつて天然の藍染めが行われていましたが、現在は合成藍や強い薬品を使って染色する方法しか残っていません。蓼藍から作った「すくも(染料)」や自然発酵建て技法は熟練が必要で手間もかかりますが、環境や健康に優しい、これからの時代にマッチした優れた染色技術ですから、世界中にもっと紹介したいです。

今年は四国大学・徳島県藍染め研究会とハンガリーのデザイン大学が共同で行った「藍の出会い」という展示会に参加できました。このイベントを通じて、日本とハンガリー両国の役に立てた事は大変うれしいです。日本に来てから、藍染めを通じてたくさんのお出会いがありました。それは幼稚園児から大学生、お年寄りたちといった幅広い年齢層の人々であったり、日本以外の珍しい民族、たとえばマオリ族の人との出会いでした。このような経験が、私のこれからの研究や作品作りに強く影響を与えて行くでしょう。これからも続く「藍との出会い」を大切にしたいと思っています。



## 楽しい、日本語

徳島文理大学薬学部 2年

ショウ ワンイク  
肅 婉毓 台湾

“日本に来てどのくらい?” “来年四月まででちょうど二年よ。” “日本語ペラペラですね。” “イエイエ、まだまだですよ。” そのセリフは何回も言いました。「オ～褒められた、うれしい・・・と思うけど、」自分の日本語は実際にまだ6才の園児のようなレベルだと思います。なぜかという、ある日日本人の友たちの家で食事中にカタカナが難しいという話題になった。その時6才になる娘さんが“じゃ、わたしが教えてあげるよ。”と偉そうにいわれ、教えてもらった。

大学に入ったばかりの頃、日本語がわからず、学校の授業に使った日本語はさらにレベルが高いので、授業中何を説明しているかが分からなかった。いつも先生の表情や、周りのシャーペンの音を頼りに大事なことを話しているんだと判断していました。きれいな板書で説明されると、半分くらいは想像することができる。でも、黒板の板書があちこちに飛んでいたり、漢字を省略していると、まるで90分間の字幕がない日本語映画を見てるようです。だから、時々無意識になってしまいました。申し訳ございません。しかし、友達がノートを見せてくれたり、先生が授業後に丁寧に説明してくれて、無事一年を乗り切り、日本語も少し上達しました。

日本語が少し出来るようになると、友達もだんだん増えて、そこから本場の日本語の勉強が始まりました。初めて声をかけられたのは「あざーす」でした。最初、意味が分からなかったが、きっと挨拶だろうと思い、私も「あざーす」と返事をしました。すると相手はビックリして笑って「ありがとう」という意味だと教えてくれました。私はメモを取りました。また、試験前のある日、勉強に飽きた友達が、「もう、病気!」「病んだ」といっていた。私はメモを取りました。少し時間がたってから、だんだん阿波弁、関西弁、標準語を混ぜて使うようになり、～やけん(やったっけ)、～とん(知っとな?)などいつの間にか自分のものになって、あかん、ほんまなども自然に口に出すようになった。

やっと日本語で会話が出来ようになったけど、やっぱり書くことは難しい。きれいな発音もできない。例えば、患者さんといいたいけど、口に出すのは感謝さん、一秒を一尿…濁音をつけるかつかないかをわけることができない。漢字も正しくよめる確率が低い。そしてレポートを書くとき、間違った読み方を入力して、使いたい漢字がうまく出てこなくて、パソコンにいらいらしてしまう。

そんな日本語が下手な私も日本で2年生きている。日本人が頑張って私の日本語を理解してくれて、わずらわしく思わずに、説明してくれて、ほんとに助かりました。時々、銀行や市役所に用事があるとき、きれいな日本語を使えないので恥ずかしくて緊張してしまう。日本語の勉強は楽しいし、もっと上手になりたい。これからも日本語の勉強を続けて行きたいです!





## 日本での留學生活

徳島工業短期大学

自動車工業学科 1年

ミア シュモン エムディ  
MIAH SUMON M D

バングラデシュ

私は理想を抱いて、自信を持って日本へ来ました。

そして、私の新しい留學生活が2008年4月24日から始まりました。

時間がたつのは早いです。これまでの生活はもうすぐ3年になります。この3年はとても短かったと感じています。

来日した夜のことをまるで昨日の事のように思い出します。

バングラデシュにいる間は、ご飯を作らなくていいし、洗濯もしなくていい。

学校の勉強とのんびりした生活を送っていました。しかし、日本に来てから一人暮らしの生活になり、何でも自分でしなければなりません。料理のできない

私は、日本の物価は高く、しかも外食では栄養バランスが良くないので料理の練習をやり始めました。何回も何回も失敗しましたが、ついに食べられるくらいまでに上達しました。

留學するのは言葉の問題も大変だと思います。日本に来て日本語が話せないと周りの人々と交流できません。これは留學する人にとって共通の問題だと思います。私も日本に来てからすぐに実感しました。初めて両親のそばから離れて、そして言葉も全く知らない外国に留學し、それから私は毎日、日本語学校に通いました。学校の先生方は親切です。私は困った時、先生方の親切さに助けられ、とてもうれしかったです。

日本語が少し上達したのもう一つの問題が出てきました。それは、アルバイトです。日本の物価が高いのは世界的に有名で、留學生にとってはかなりの負担になります。「バイトをしないと生活ができない」といっても過言ではありません。

しかし残念なことに留學生を採用してくれる店はあまりなくて、まだ日本語を勉強中の人は働くことのできる機会がもっと少ないです。

私は幸運なことに、アルバイト先を見つけることができました。その時からもっと大変な生活が始まりました。毎日アルバイトをしながら勉強をしなければなりません。こんな生活を続けるのは大変です。しかし、これは自分が選択した道だから、後悔せず、自分の夢に向かって頑張っていきたいです。



## 留学生から見た徳島

阿南工業高等専門学校

電気電子工学科 3年

バトサイハン バトムンフ  
BATSAIKHAN BATMUNKH

モンゴル

私は今年の四月に徳島県の阿南市に来ました。去年の四月、日本に来てから一年東京で過ごしました。その間たくさんの日本人と会って、徳島県についていろいろ聞きました。徳島県について何も知らない人や、初めて聞くという人、よく知っている人にも会いました。それで徳島県はみかんと魚がおいしいということや、有名な博物館があることを知りました。ちょっと田舎みたいな所かも知れない、話す発音も違うということも聞きました。

でも、徳島に来てから、自分で徳島県にたくさん良いところを見つけました。たとえば徳島の人々は本当に優しく、徳島ラーメンも私は大好きになりました。今、私の住んでいる所は自然がきれいで海にも近くて、買い物するときもコンビニとスーパーマーケットと大阪も近くにあるから住むのに便利です。さらにモンゴルでは海はなくて天候も寒く、特に私の住んでいる町は車と人が多い住むのにそんな便利じゃないことがあります。

徳島市で新町橋、眉山、阿波踊り会館とかいろいろきれいなところに行ってみました。ほかにはかずら橋、あすたむらんどへ楽しい旅行をしました。また行ってないところはたくさんありますから、また是非行ってみたいです。



## 徳島大学、私の起点

—徳島大学から最初の一步を踏み出す—

徳島大学大学院先端技術科学教育部  
博士後期3年

た の 中 国  
田 野

私は田野と言います。中国の瀋陽から参りました。今年は徳島での5年目でもあり、私の留學生活の最後の一年でもあります。

徳島に来たとき、私は故郷を離れた寂しさと新しい環境に対する不安に包まれていました。しかし、徳島大学にたどりつき、所属研究室に入ったら不安が取り除かれました。それは、先生方がとても親切で、研究室の学生たちが非常に友好的に接してくれたからです。徳島を案内してもらったり、おいしいラーメン屋に連れていってもらったおかげで、私は間もなく日本での生活に慣れてきました。

それから5年が経ちました。この5年間にたくさんの体験や思い出ができましたが、私にとって最も大きな贈り物は先生から受けた影響だと思います。

研究において、先生は指導だけではなく、論文原稿を丁寧に訂正してください。最初の論文は投稿するまでに先生が何十回も目をとおしてください、私は先生を通して日本人の真剣さとさらに高いレベルを求める態度を感じ取りました。また、出身国や個人背景を問わず、積極的に国際交流していく姿勢と他国の文化を尊敬し理解していこうという先生の態勢が印象に残っています。私は先生をみて、国を超え、広い心で様々な文化背景を持つ人たちと交流し、理解しあっていくように啓発されました。また、先生と私はよく教育について議論します。例えば、先生は自分の教育理念を私に話してくれたり、私は学生としての視点でみる日本現代教育に関する考え方を語ったりしました。このような先生との交流を通して、私は研究者あるいは教育者になりたい気持ちが固まったのです。

来年留學生活が終えようとしています。私は日本で研究し続けていくことにしました。そして先生から学んだことを頭に入れ、また学生時代の私を見守ってくれた徳島大学を起点に、研究の道を恐れず一步踏み出して歩いてゆこうと思います。



## やっぱり踊りはやめられない

徳島大学 総合科学部  
人間社会学科・アジア研究コース 3年

ビクトリア ブロイヤー  
VICTORIA BLOYER アメリカ

アメリカのフロリダ州から来たビクトリア・ブロイヤーです。徳島大学で日本語学を勉強しています。徳島では、欧米からの留学生が珍しいですので、日本人はよく私にアメリカの文化とかアメリカ人として日本についてどう思うかとか、色々な質問してきます。例えば、「寿司・刺身食べれますか」や「箸の使い方、どこで覚えましたか」といった質問です。（ちなみに、それらに対する答えは、「はい、大好きです。」「小さいとき中華料理店でウェイトレスに教えてもらいました。」）ところが、一番よくある質問はやはり「どうして徳島に来たのですか。」です。

4年半前、2006年3月に交換留学生として徳島にやってきました。当初の計画では、徳島大学で日本語を勉強しながら日本文化と日本での生活を経験して、1年後アメリカに戻るつもりでしたが、日本に来てから数ヶ月後、交換留学の期間を延長して、徳島大学の入学試験を受けることを決心しました。入学試験に挑戦することを決めたのは、徳島にほれ込んでしまったからです。

日本に来てから3ヶ月後、徳島の魅力を見いだしました。夏になると、太鼓と笛の音が空気を満たして、この静かな町が突然活気に満ちあふれます。夜どこに行っても阿波踊りの練習風景が見えて、鳴り物の音が聞こえました。

*踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々  
同じ阿呆なら。。。*

その夏から、毎年欠かすことなく阿波踊りに参加していて、今年から有名連のメンバーとして3日間踊りました。

*1かけ2かけ3かけて、しかけた踊りはやめられない  
5かけ6かけ7かけて、やっぱり踊りはやめられない*

最終日に踊っていたとき、徳島に来て最初の夏の気分を思い出して、徳島が自分にとってどんなに大切か実感しました。その瞬間から、私は留学生とか有名連のメンバーとしてだけでなく、徳島の人間として踊っていました。

将来どこに行っても、徳島は私の第2の故郷です。徳島の人々の優しさも、徳島の美しさも、阿波弁や阿波踊りも、徳島で学んだことは決して忘れません。徳島を離れても、チャンスがあれば絶対に戻ります。できたら夏に。

やっぱり踊りはやめられない。